

## 第 2 回専門委員会におけるグループワークの意見について【概要版】

## テーマ：「何を保存・伝承すべきか」

| 区分         | 保存・伝承すべき内容         | 理由等                                                                                     |
|------------|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 神楽産業・ものづくり | 神楽道具<br>(面、衣裳、蛇胴等) | 劣化や災害リスクなどもあり、失われやすい。時代ごとに残すことが必要。神楽道具がないと舞うことさえできない。                                   |
|            | 神楽産業<br>(ものづくり技術)  | 浜田発祥の神楽産業を残すために、弟子を取れるよう支援することが必要。神楽産業研修制度の創設、ブランド化、文化財指定の検討が必要。現在の工房(商号)をなくしてはならない。    |
| 舞い         | 奉納神楽文化             | 地域住民の集いの場であり、独自文化で神楽本来の姿。                                                               |
|            | 儀式舞                | 全演目に通じる基本動作であり、神楽の起源。                                                                   |
|            | 社中、演目              | 舞い手や夜明かし舞の減少により各社中が舞う演目数が少なくなっている(特に儀式舞)。社中と演目をセットで文化財指定すべき。時代とともに舞いは変化するので、映像に残すことが必要。 |
|            | 社中の流派              | 浜田のなかでの違いや団体ごとの舞や囃子の違いを認識することで自分たちの社中の良さに気づくことができる。                                     |
|            | 舞い手の心意気            | 古いものを大切に、新しいものを取り入れる。社中が舞いを変えてきたのではなく、周りから求められるので、変化を受容し、発展してきた。                        |
| 歴史・伝統      | 歴史                 | 歴史の変遷、県外や海外公演の歴史、石見神楽の特徴などを学べる機会を作ることが必要。                                               |
|            | 神楽台本               | 神楽台本の軌跡の調査が必要。                                                                          |
|            | 神楽関係者の思い           | 思いや生き方から子どもたちが学ぶことがある。                                                                  |

## 第2回専門委員会におけるグループワークの意見について【詳細版】

### テーマ：「何を保存・伝承すべきか」

#### 【A グループ】

参加者：豊田会長、仲野委員、山本委員、梅津委員、川神委員、柿田委員、真島委員  
進行：エブリプラン 鶴見

| 区分         | 保存・伝承すべき内容                                                                                                   | 理由等                                                                                                                                     |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 神楽産業・ものづくり | ① 神楽道具<br>(面、衣裳、蛇胴等)<br><br>② 浜田発祥の神楽産業                                                                      | ① 有形のものほど失われやすい(劣化や災害リスク)、唯一無二<br>① 学ぶ機会がない、浜田の自然や歴史とあわせて理解したい<br>① 石見地方以外の多くの地域で使用されている<br>② 浜田のものづくりと職人の凄さを知ってほしい                     |
| 舞い         | ① 儀式舞<br>② 社中、流派ごとの違い<br>③ 音、楽譜<br><br>④ その時代時代のもの、進行する神楽<br>⑤ 伝統も守り、新しいものも取り入れる、二面性<br>⑥ 子ども達にとって憧れの存在、ヒーロー | ① 神楽の基本動作、起源<br>② 浜田の中でも違いがある<br>③ 奏楽の楽譜みたいなものがないので、始めたくても始めにくい<br>④ 石見神楽は変化・進化していくもの<br><br>⑤ 求められたら応える浜田人の心意気                         |
| 歴史・伝統      | ① 歴史、変遷、特徴<br>② 奉納神楽の文化<br><br>③ 県外・海外公演の歴史<br>④ 色々なエピソード<br><br>⑤ 想いを持って伝承している方々                            | ① 学ぶ機会がない<br>② 石見地方独自の文化であり、本来の姿。集いの場、フェス(やじ、お酒、子どもも夜更かし)<br>③ 石見神楽の凄さ、自慢の芸能であることを再認識できる<br>④ 本に書かれていない面白さや魅力がある<br>⑤ 生き方から子ども達が学ぶことがある |

※特に危機感を感じていること

- ・ 神楽産業の継承
- ・ 舞手がいない

※保存・伝承の取組に関する意見

- ・ 神楽産業の研修制度
- ・ 神楽産業がきちんと食べていけるように

※情報発信に関する意見

- ・ メディアの力
- ・ 来てもらうには？どう呼ぶか？

# 【B グループ】

参加者：福浜副会長、浅沼委員、小川委員、大賀委員、丸山委員、植田委員、小林委員  
 進行：エブリプラン 森田

| 区分         | 保存・伝承すべき内容                                                                                                                          | 理由等                                                                                                                                                                                          |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 神楽産業・ものづくり | ① 現在活躍されている石見神楽の伝統のものづくりの技術と工房（商号）の継承<br>② 古い衣裳や面（社中にそれぞれ保存）<br>③ 浜田で創始制作された神楽のものづくりの軌跡の調査<br>④ モノづくりの技術<br>⑤ 石州半紙との関連性             | ① 継承者の育成、事業としての確立<br>② 昔から大事に扱われてきた                                                                                                                                                          |
| 舞い         | ① 神楽台本の軌跡の調査（台本の評価と扱い）<br>（30 台本のうち 7～8 本が儀式舞）<br>② 神楽の舞の演目<br>③ 奉納神楽<br>④ 神楽社中の保存                                                  | ② 舞は変化していくものだから、体系的に映像でしっかり残す必要がある。特になくなっていく舞があるのが現状<br>③ 神楽は神様に見せて楽しんでもらうもの                                                                                                                 |
| 歴史・伝統      | ① その時代ごとの資料や歴史の調査保存、記録<br>② 石見神楽の発祥<br>③ 浜田の石見神楽とは何か<br>④ 石見神楽に関わる伝統文化や奇祭の保存伝承と支援（長浜地区の海上渡御など）<br>⑤ 他のものとの関連性の整理<br>⑥ 子どもたちに神楽を伝承する | ① 石見神楽の発祥の地として史実な伝承（浜田市民の誇り）<br>② 神楽を生み出したまちであることを語りつくせることが大切<br>③ 当地において石見神楽がなぜ生まれたか<br>④ 石見神楽といってもその地域によっては広い<br>⑤ 田ばやしも六調子と八調子がある大元神楽との違いの整理（託宣（託舞）との関連性）<br>⑥ 高齢化や後継者不足により、存続が危ぶまれる社中がある |

## ※共通事項

- ・ 本物を継承することが重要、神楽にまつわる伝統文化を合わせて保存
- ・ 研究することも重要。行政でしっかり調査し、とりまとめることが必要

## ※保存などの方策に関する意見

- ・ 神楽舞の文化財指定（〇〇社中の〇〇）：他地域では文化財指定されている
- ・ 後継者育成⇒体験学習が有効、見る人からする人へ熱中する人がいたからこそ存続してきた。「かっこいい、憧れの存在」

## ※観光との連携

- ・ 神様も地域活性化を喜ぶと思うので、観光に寄与することも重要
- ・ 「まちづくり」と一体的な取り組みが大切、「石見神楽を創り出したまち浜田」